

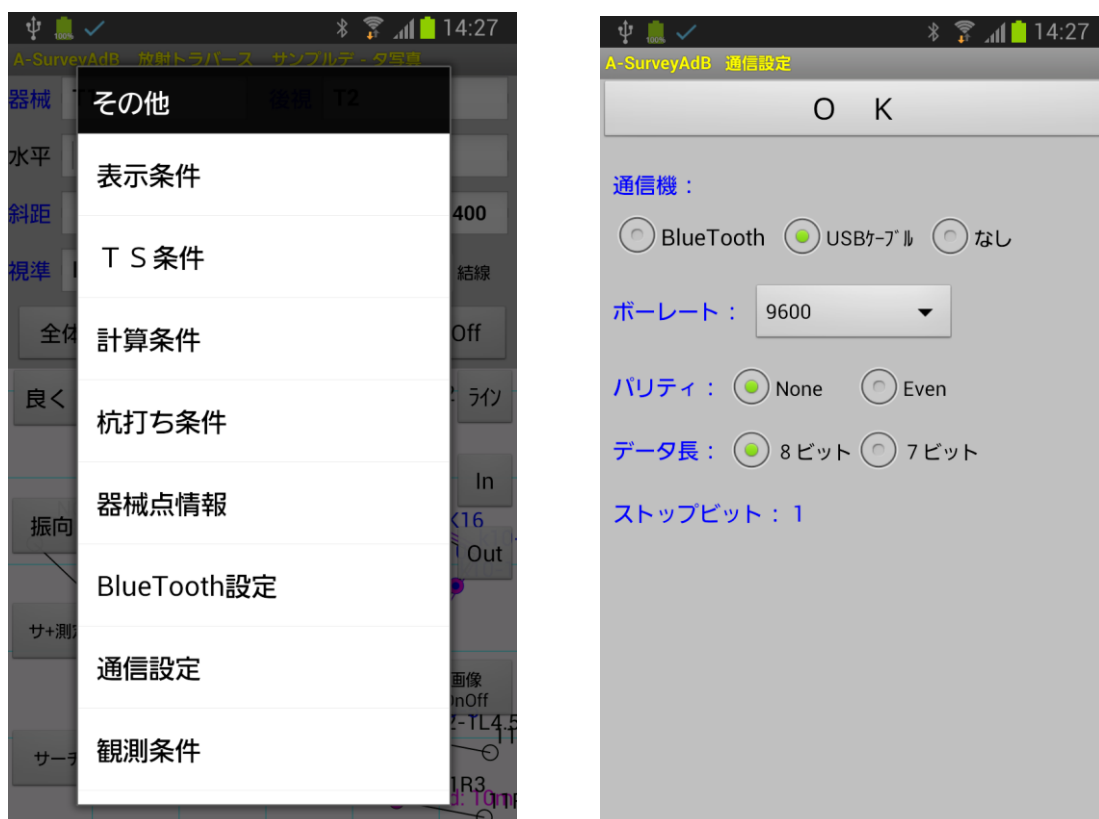
A-SurveyAdB

SET600S, SET500S, SET650RXS など

2ウェイ機能が有るTS

「その他」 — 「通信設定」

まず、最初に Bluetooth を使うかケーブルを使うかの設定をしてください。



ボーレート、パリティ、データ長、ストップビットをTS側と同じにしてください。

TS 側の通信設定

ボーレート：9600

データ長：8

パリティ：なし

ストップビット：1

CX-105、SET500 など、2ウェイ機能があるTS

「その他」 — 「TS 条件」

ゼロセット、測距モードの選択ができます。

TS側の設定で、“チェックサム” 有りにしてください。

←——ノンプリ機能の無いTSは
チェックしてください。

ノンプリ、シートの切り替えが使用できるのは、下記の機種になります。

Series110M, Series230RM, Series10 (Ver. 494-22-05 以降)

Series20, Series20K, Series30R (Ver. 493-22-01 以降)

Series30RK, Series50X

Series50RX, CX, SRX, SRXX, SX, DX, SETX, FX

ノンプリ、シート対応機種では、プリズムと切り替えて使用できます。



タイムアウト：T Sの測距に掛かる時間+ α で設定します。
指定時間内に、データを取得できない場合は
“タイムアウトエラー”と案内されます。
原因を解消し、再度測定してください。

ウェイト：T Sへの命令を連続で出す場合に、入力時間待つて処理します。
500 ミリ秒は、0. 5 秒になります。

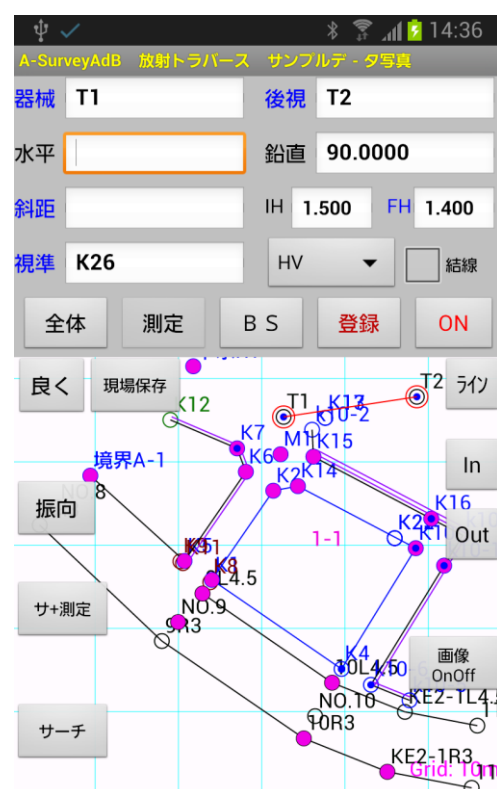
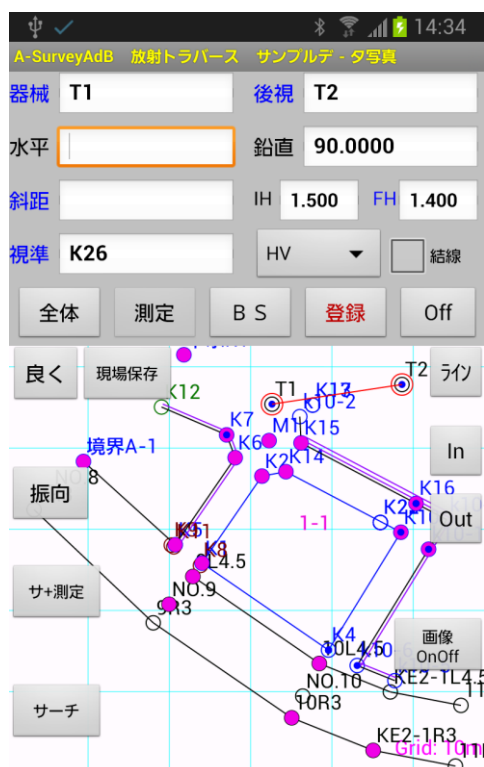
測距回数：距離の測定回数です。座標計算は平均が使用されます。
A P Aファイルや記録簿には、全データが保存されます。

ケーブルを挿してください。

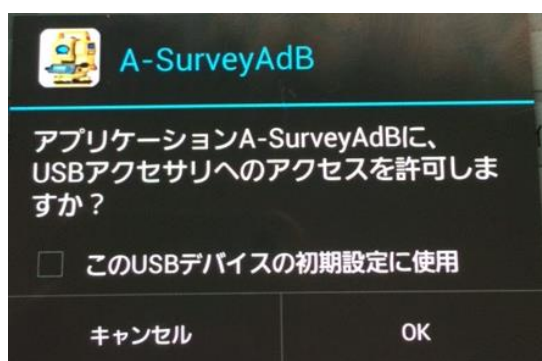
[Off]ボタンを、押すと赤色の[ON]に変わります。

[ON]ボタンを押すと、[Off]になります。

後は、通常の使い方と同じです。



「Off」ボタンを押した後、最初に下記の画面になりましたら、チェックを付けてから「OK」を選択し再度、[Off]ボタンで接続してください。



Android 機に依存しますが、

一応、[Off]にしてからケーブルを抜いてください。(TS 側を抜くのはOK)